

同時発表：国土交通省 総合政策局公共事業企画調整課

国土交通省 大臣官房公共事業調査室

北海道開発局、各地方整備局、内閣府沖縄総合事務局

令和 7 年 1 2 月 1 6 日

国土交通省中部地方整備局

企画部

ふるさと
令和 7 年度 手づくり郷土賞（国土交通大臣表彰）を認定！

中部地方整備局管内から 1 件の活動が認定されました

社会資本と関わりをもつ地域づくりの優れた取組を推進するため、全国各地から応募のあった活動の中から、10 件（一般部門 10 件）の優れた活動を令和 7 年度の「手づくり郷土賞」として認定しました。（資料 1）

このうち中部地方整備局管内からは、1 件が認定されました。

中部地方整備局管内からの認定案件（一般部門）

○受賞団体：岐阜県 加茂郡 七宗町役場 建設課

活動名：七宗町における持続可能なまちづくり

～プロジェクト 1184～

対象となる社会資本：飯高橋（令和 6 年）、笹尾橋（令和 5 年）、奥田橋（令和 4 年）

※活動の詳細は資料 2 をご覧ください。

※受賞団体への認定証の伝達を 1 月～2 月に予定しております。詳細は後日、中部地方整備局が記者発表によりお知らせします。

■令和 7 年度 手づくり郷土賞 受賞記念発表会の開催

全国に優れた取組が広がることを目的に、手づくり郷土賞の受賞者から活動の紹介を行っていただく発表会を開催します。

1. 日 時：令和 7 年 3 月 1 日（日）13 時 00 分～16 時 00 分（予定）

2. 場 所：一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2）

※詳細は後日、総合政策局公共事業企画調整課が記者発表によりお知らせします。

<発表記者クラブ> 中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ

<問い合わせ先>

中部地方整備局 企画部

電話：052-953-8127（代表）

環境調整官 吉田 光則（内線：3114）

建設専門官 木澤 学（内線：3155）



令和7年度 手づくり郷土賞 認定案件

資料 1

<一般部門>

No	地方	都道府県	市区町村	案件名	応募者	
					地域活動団体	社会資本管理団体
1	北海道	北海道	栗山町	ホタル舞い、サケが遡上する郷土(ふるさと)の川 ～童謡の見える里山づくり～	栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会、夕張川自然再生協議会、栗山オオムラサキの会	
2	東北	山形県	米沢市	未来へつなぐ 萬世大路 ～ 総合学習と観光創造 ～	歴史の道土木遺産萬世大路保存会	山形県置賜総合支庁 ・ 米沢市建設部土木課
3	関東	栃木県	さくら市・宇都宮市	鬼怒川中流域の生物多様性を守る	特定非営利活動法人 水辺環境保全研究所	国土交通省関東地方整備局下館河川事務所
4		埼玉県・東京都	戸田市他・板橋区他	荒川を“首都圏の里川”に荒川クリーンエイド	特定非営利活動法人荒川クリーンエイド・フォーラム	国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所
5		神奈川県	伊勢原市	高校生の力で育む未来 ～子どもから大人まで、多様な世代がつながる公園愛護会～	私立向上高等学校 なおき会	伊勢原市都市部都市政策課
6	北陸	新潟県	長岡市	震災の記憶から防災を学ぶ よりみち街道『中越』 ～中越地震からの復興と活性化～	特定非営利活動法人 くらしサポート越後川口	
7	中部	岐阜県	七宗町	七宗町における持続可能なまちづくり ～プロジェクト1184～	岐阜県 加茂郡 七宗町役場 建設課	岐阜県 加茂郡 七宗町役場
8	中国	岡山県	笠岡市他	備中とと道トレイル60km ～ 歩こう 愛そう いつまでも～	備中とと道トレイル推進協議会	
9	四国	高知県	日高村	巨大な水のトンネルは、未来へのトビラ。 ～新日下川放水路のインフラツーリズム～	日高村 ／ 一般社団法人 日高村観光協会	国土交通省四国地方整備局高知河川国道事務所
10	沖縄	沖縄県	伊江村	伊江村野球場を活用した地域活性化 ～子どもたちの夢が広がる～	一般社団法人 伊江島観光協会	沖縄県伊江村

＜大賞部門＞

No	地方	都道府県	市区町村	案件名(過去の受賞年度)	応募者	
					地域活動団体	社会資本管理団体
該当なし						

中部地方整備局管内認定案件 【一般部門】

七宗町における持続可能なまちづくり～プロジェクト1184～（岐阜県・七宗町）



町職員らが参加した不適格橋を考える研修



真剣な眼差しで隅々まで塗装する児童

＜活動内容＞

持続可能なインフラメンテナンスの実現を目指し、令和4年度は周辺自治体職員とともに、小規模橋梁にて防錆処理等の簡易補修のDIY研修を通じ、職員だけで補修する場合の課題を抽出した。令和5年度は、既存不適格橋を考える研修を通じ、災害時に通行止のリスクがある橋梁において普段から住民との合意形成を図る取り組みの重要性を改めて痛感した。令和6年度には、小学校5・6年生を対象に、インフラメンテの必要性の座学と児童による高欄塗装実習を行う体験イベントを開催した。児童が実際に橋を塗り替えるなど、令和4年度より段階的に地域インフラに対する関心と愛着を育くむ取り組みを実施している。

七宗町 建設課

＜対象となる社会資本＞

飯高橋（令和6年）、笹尾橋（令和5年）、奥田橋（令和4年）

※管理者：七宗町

◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和7年度で40回目。

【大賞部門】

過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

【一般部門】

はじめて受賞する団体を対象とした部門

(参考)手づくり郷土賞の過去の受賞案件は以下のURLに掲載しています。

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（令和7年度）

委員長	野澤 康	工学院大学 建築学部まちづくり学科 教授
委員	小浦 久子	奈良文化財研究所 文化遺産部 景観研究室 客員研究員
委員	斉藤 俊幸	イング総合計画株式会社 代表取締役／地域再生マネージャー
委員	坂元 英俊	一般社団法人 地域観光研究所 代表理事
委員	真田 純子	東京科学大学 環境・社会理工学院 教授
委員	西村 浩	株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役

（敬称略）